

授業特別協力者(ゲストスピーカー)報告書

テーマ : トリロジーとしての東京オリンピックー1940年～1964年～2020+1年ー
授業特別協力者名 : 夫馬 信一 氏 (ノンフィクション作家 編集・制作・ライター)
実施日時 : 2022年6月15日(水) 2時限
担当教員名 : 市場 俊之
授業科目名 : スポーツ科学
履修者数 : 235名

実施結果

「幻の東京オリンピック (1940年)」、「もはや戦後ではない東京オリンピック (1964年)」そして「コロナ禍の東京オリンピック (2020+1年)」をトリロジー (3部作) と捉えた。3つのオリンピックは20数年ないしは約60年の時間差を持っているのではあるが、1964年を基軸とし、先立つ1940年および2020+1年に通底する日本の状況が浮き彫りにされた。それらは、よし悪しあるいは肯定・否定から離れた「長期的な用意周到さと同時に一夜漬け的臨機応変さ」と言うべき特徴である。1940年が皇紀と結びつけられたこと、1964年大会直前にコレラ騒動が起き、その対応であったり他が具体例である。

事前に3度の東京オリンピックについて講義中で取り扱っていた。受講学生は、2020+1年は実体験しているが、彼らにとって1940年も1964年も、まさに「歴史の中」のものである。その意味では、夫馬氏の講義は、写真を提示しながらもどちらかと言えば、「共感しにくい」ものであったかもしれない。